

## 森とのつながりが寄与する 企業・団体等の社会貢献活動

### 01. 国際的な持続可能な開発目標 (SDGs)

森林資源・森林空間の利用はさまざまなSDGsに貢献し、中でも植樹や間伐などの森林保全活動は、「気候変動に具体的な対策を」「陸の豊かさを守ろう」に深く関わる活動であり、環境貢献につながっています。

#### 森林空間の利用と期待される主な効果

<p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p> <p>健康増進</p>	<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p> <p>森林環境教育</p>	<p><b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に</p> <p>水源涵養</p>	<p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p> <p>雇用創出・人にやさしい職場づくり</p>	<p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>森林サービス産業</p>	<p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p> <p>地方創生・国土保全</p>
<p><b>12</b> つくる責任つかう責任</p> <p>持続可能な産業</p>	<p><b>13</b> 気候変動に具体的な対策を</p> <p>炭素貯蔵</p>	<p><b>14</b> 海の豊かさを守ろう</p> <p>森は海の恋人</p>	<p><b>15</b> 陸の豊かさを守ろう</p> <p>生物多様性</p>	<p><b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>企業・個人・行政等のパートナーシップによる森林の持続可能性の確保</p>	

### 02. ゼロカーボン北海道

北海道の財産である豊かな森林を将来に遺し、未来の子供たちへ引き継ぐことは、環境保全に寄与するのはもちろん、さらに森林を健全化することは、温室効果ガスの排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボン北海道」の実現にも多大に貢献しています。

#### ゼロカーボン北海道とは



道では、2020年3月に「2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す」ことを表明。北海道が有する豊かな地域資源を最大限に活用しながら、道民・事業者・市町村・団体などが一体となり、脱炭素化と経済の活性化、持続可能な地域づくりを同時に進める「ゼロカーボン北海道」の実現を目指しています。



地域づくりや地域振興など、森林空間を活用し、「地域がつながる」活動を行っている企業の木育をご紹介します。

コープさっぽろのドックエコステーションでの木育活動の様子

